

情報公開用文書

西暦 2025 年 05 月 15 日作成第 1 版

実施内容	難治性嘔気に対するオランザピンの使用
対象患者	原因がいくつも考えられる、あるいは、はっきりしない嘔気や嘔吐が続いている患者さん
実施期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>嘔気や嘔吐はとてつらい症状です。嘔気や嘔吐の原因がいくつも考えられる、あるいは、原因がはっきりせず、一般的な制吐薬を使用しても症状が緩和されないときには、ガイドラインにも、オランザピンの使用を推奨するとされています。</p> <p>当院でも一般的な制吐薬を使用しても症状が緩和されない患者さんに、主担当医が必要と判断した場合にはオランザピンを使用します。</p> <p>【予想される不利益と対策】</p> <p>オランザピンは、高血糖があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡から死亡に至るなどの致命的な経過をたどることがあるため、糖尿病の患者、糖尿病の既往歴のある患者には禁忌となっています。</p> <p>また、抗精神病薬であり、院内のハイリスク薬に指定されていることから、高血糖や眠気に十分注意しながら使用し、副作用が生じた際には投与を中止し、症状に応じて治療を行います。</p>
<p>当院の未承認新規医薬品等を評価する委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意できないと連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと担当医が判断したとき、再度ご説明させていただくことがあります。</p>	
<p>問合せ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先: 〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地静岡県立静岡がんセンターRMQC 室(医療の質・安全管理室) 電話番号: 055-989-5222 (代表) または、担当医に直接お申し出ください。</p>	